

気象研究ノート「気象学会創立 125 周年特別号（仮題）」原稿募集のお知らせ

気象研究ノート編集委員会

気象研究ノート編集委員会では、2007年の気象学会創立125周年記念行事の一環として、2部構成からなる特別号を発行します。ついては、このうち第1部の「次世代に伝えたいこと」に掲載する原稿を以下の要領で公募しますので、奮って投稿ください。

なお、第2部では世界に誇れるような研究あるいは気象事業に関する「プロジェクト」を掲載する予定です。また、125周年記念行事の全体像については、おって「天気」に掲載される予定です。

1. 第1部「次世代に伝えたいこと」の趣旨

気象学会の会員は、気象に関連する研究や教育ならびに業務やサービスなど種々の分野の人々で構成されており、それぞれの個人史を持っています。例えば、研究者の場合は、学校の選択や就職活動から始まって、研究テーマの設定、研究活動と成果の発表、組織と個人との関係、さらに予算の獲得など種々の段階を通じて、いろんな困難や悩み、発見や喜びの体験などを有しているでしょう。そうした体験を通じて得られた教訓、提言や展望、あるいは記録などを次世代を担う会員に伝えることによって、気象学会の発展に寄与することを目的とします。

2. 投稿要領、締め切りなど

(1) 原則として60歳程度以上の会員からの投稿によるものとします。紙幅は一人あたり刷り上りで5ページ以内、内容は上記の趣旨に合致するものとし、写真なども歓迎します。原則として査読は行いませんが、編集委員会で修正などをお願いすることがあります。原稿料は支払い致しませんが、別刷を30部を限度に差し上げます。

(2) 原稿の締め切りについては、編集上の都合から2段階に分けることとし、応募する旨の意思表示の締め切りを2006年8月末日、実際原稿の締め切りを2006年12月末日とします。応募意思のある会員は下記までご連絡ください。

なお、応募状況によっては編集委員会から投稿を勧めることがあります。

(以上)

連絡先：

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所 環境・応用気象研究部

清野直子

e-mail metnote@mri-jma.go.jp

TEL 029-853-8613 (環境・応用気象研究部)